

「大・南大萱展」の概要

「大・南大萱展」開催および展示品について

本展覧会「大・南大萱展 ～ 瀬田のいまむかし」は、南大萱資料室のご協力を得て、龍谷大学国際文化学部および里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター（略称：里山ORC）の共催により開催するものです。

国際文化学部は4月に開設12年目を迎え、「地域に根ざし、世界とともにある」学修を目指して教育・研究活動を推進しています。また、里山ORCは、2004年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業に採択され、「里山をめぐる人間と自然の共生に関する総合研究」をテーマに、諸成果を広く一般にも公開することを目指しながら、研究活動を展開しております。

今般、本展覧会で紹介します“南大萱”（旧南大萱村）という場所は、龍谷大学瀬田キャンパスの一部を含み、学内バス停前の森林地帯および瀬田丘陵の文化ゾーン一帯から学園通り、JR瀬田駅周辺をへて琵琶湖畔にまで至る長さ4キロ、幅1キロほどの細長い地域です。邪馬台国の卑弥呼が中国から贈られたとみられる三角縁四神四獣鏡（東京国立博物館所蔵）が出土した織部遺跡があり、「四ノ坪」「六ノ坪」などと呼ばれる条里制による水田で今もコメが収穫されています。日露戦争から太平洋戦争まで524人が出征し、戦後を経て、1969年の瀬田駅設置とともに、“南大萱”というかつての農村が市街地へと大きく変貌してきました。龍谷大学瀬田キャンパスが、滋賀県および大津市の支援を得て、瀬田丘陵の中心部に開設されたのは、1989年（平成元年）のことです。

地元の有志の方方で結成された南大萱資料室は、長年の資料収集と古文書の解説をもとにした非常に大部な『南大萱史』を編纂出版（2004年）され、これまで、それと同様の内容を子どもたちにも理解できるよう絵図や写真によるパネル展を企画運営されてきました。大津市文化連盟が主催する9月の地区文化祭での「参加企画展」や「ミニミニ企画展」においてパネル展示を行ったり、8月15日の終戦記念日に「戦争の記憶展」を南大萱会館で開催するなど、幅広い活動をしてこられました。今般の「大・南大萱展」

は、新たに作成されたものを付加しつつ、南大萱資料室の過去の諸活動を集大成して展示するものです。

なお、田船の舵・櫓・帆柱を使って立てる、貴船神社の鳥居は「貴船講」のご好意で展示していただきました。江戸末期からこの地域に伝えられている「古典立華」は、地元の同好の方たちのご好意で出品されました。

限られた地域についての展覧会ですが、かえって「人と自然のかかわり」の変遷がこの上なく具体的に示されており、「人間と自然の共生」についての理解を一層深めることができますと考えます。また、そうした地域の歩みが決して孤立したものではなく、広く日本各地や世界各地の人々の歩みとつながっていることを理解する機会になることを願っております。

地域の歴史を丹念に振り返り、それを将来に伝えようとされてきた南大萱資料室の方々のご努力と熱意に、心から敬意を表するとともに、今回の展覧会を可能にして下さった関係各位に衷心より感謝申し上げます。

2007年4月

龍谷大学 国際文化学部学部長 嵩 満也
里山ORCセンター長 宮浦 富保

「大・南大書展」 展示品リスト (2007年4月19日～26日)

ショーケース・コーナー	災害 南大書の災害史	1	ロビー	戦没者選影 瀬田国民学校6年誓結記念写真 学級日誌表紙 学級日誌 兵役と出征兵士 出征兵士と戦没地 太平洋戦争 勢力圏図 1941～45 新聞記事・太平洋戦争と日本 日本側の地域別戦没者数 古い新聞記事・戦時中の写真 南大書 戦争の記憶展ポスター	4
	'' 南郷洗濯	1			
コーナー	'' 室戸台風	1	101室の前廊 下と101室内	「わが街大書」スケッチでみる大書 道路の今昔(道と風景) 生活の今昔 住いの移り変わり 家賃請 村人の服装 昔の行商写真 葬儀の今昔 芦溝道(東山道・東海道) 旧東海道 瀬田駅開業 貴船神社例大祭 貴船神社 大書兵 貴船神社例大祭 組立鳥居 御輿 古典立書 古文書関係 丸尾之池開発図他 豊野小学校鬼瓦	73
	江戶中期以降の災害事例と死没者の推移	4			
コーナー	瓦版 享和2年(1802年)	2	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	織部遺跡	1			
コーナー	東光寺遺跡	2	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	山ノ神遺跡	2			
コーナー	源内味遺跡	2	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	田畑宅地開発状況	2			
コーナー	元禄3年(1690年)	2	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	安永7年(1778年)	1			
コーナー	明治10年(1877年)	1	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	平治16年(2004年)	1			
コーナー	南大書お店昔と今	3	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	写真で見る農業(米作)	2			
コーナー	大書の歳時記	2	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	農業を中心とした大書の移り変わり	1			
コーナー	南大書のたべもの	2	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	大書展ポスター	2			
コーナー	600年前 九代王大明神の祭 応永3年(1396年)	1	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	500年前 浄土真宗の善寺・萬福寺・通徳寺の誕生	1			
コーナー	400年前 寺社建築チームの慶長7年(1602年)	1	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	300年前 西野三昧花探舞の元禄4年(1691年)	1			
コーナー	200年前 江戸期最大の水害 享和2年(1802年)	1	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	150年前 950神忌萬灯祭 嘉永5年(1852年)	1			
コーナー	平均寿命の100年の推移	1	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	航空写真	1			
コーナー	昭和22年(1947年)	1	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	昭和46年(1971年)	1			
コーナー	平成13年(2001年)	1	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4
	豊野神社例大祭 今昔	2			
コーナー	龍谷大 ポスター類	2	101室内	[わが街大書] スケッチでみる大書	4

↑ パネルボードの分量

↑ パネルボードの分量

南大萱資料室について

- 滋賀県栗太郡瀬田町南大萱は昭和41年に大津市と合併し、その後、平成3年に旧瀬田町は瀬田南、瀬田、瀬田北、瀬田東学区に4分割された。
- 現在、南大萱は大津市行政区の瀬田北・東学区を中心とする琵琶湖南東部に位置し、びわこ岸から瀬田丘陵・滋賀県文化ゾーンへの東西にのびる面積約4km²の地区にあって大字（おおあざ）の地区名である。
- 大萱の地名由来には、3つの説がありかつて広い萱の野原であったこと、おお大が衙や屋と書いて奈良時代の地方官庁があったこと、また、大瓦屋と書いてこの地に大寺院があったこと、に由来するといわれています。明治7年に草津市内の大萱と区別するため、南大萱となりました（南大萱会館前の石碑より）。
- この南大萱地区には数多くの遺跡や古墳があり中でも7・8世紀の東光寺遺跡、山ノ神遺跡や源内峠遺跡など顕著なものである。また、織部古墳では明治45年「三角縁四神四獣鏡」（東京国立図書館に寄贈）が出土発見されるなど全国的に歴史上重要な位置づけがされている。
- 平成2年、今まで自治会で保管されていた古文書や多くの資料の散逸を防ぐため、南大萱資料調査保存会が結成され、古文書の解読や資料の整理作業を進め平成13年3月に南大萱史編纂室として史誌発刊に向け新しく発足した。
- 平成16年5月に南大萱史編纂委員会により「南大萱史」が初めて発行された。
- 南大萱史発行後、資料の保管・整理作業および小・中学生への教材としての資料提供や、老人会ほか各種団体での参考に供すべく「南大萱資料室」が南大萱会館内に設けられている。
- 主な事業としては、近年、8月に「戦争の記憶展」、11月の地域文化祭には「遺跡発掘復元品の展示」ほか、地元の保存資料（個人含む）のリストアップ作業など地域に密着した活動を行っている。

平成19年4月

南大萱資料室

室長 松田庄司

〒520-2144 大津市大萱2丁目18-31

南大萱会館内 TEL 077-545-1696

「大・南大萱展—瀬田のいまむかし」の報道状況

No.	日付	見出しタイトル	新聞名	区分
1	2007.4.13	大・南大萱展	毎日新聞 (滋賀版)	朝刊
2	2007.4.19	南大萱の「いまむかし」知って 龍大と住民 きょうから 歴史や風俗紹介	京都新聞 (滋賀版)	朝刊
3	2007.4.19	「大・南大萱展～瀬田のいまむかし」 「村の移り変わり」紹介	朝日新聞 (滋賀版)	朝刊
4	2007.4.20	旧南大萱村の歴史伝える 龍谷大 農機具や古文書展示	中日新聞	朝刊
5	2007.4.20	「南大萱」地域の歴史 写真や史料で紹介	毎日新聞 (滋賀版)	朝刊
6	2007.4.25	旧南大萱村の文化伝える 農機具など200点展示	読売新聞 (滋賀版)	朝刊
7	2007.4.24	びわこ放送 夕方ニュースにて放映「大・南大萱展の紹介」		1分40秒

(記事 pp.480～484参照)